



みどり  
水土里ネット

21世紀の農の夢を創る

ホームページアドレス

<http://www.midorinet-miyazaki.com/>

目次

- 1. 「新年のごあいさつ」 水土里ネット宮崎 会長 黒田 昭 ..... 2
- 2. 「新年のごあいさつ」 宮崎県農政水産部 部長 緒方 文彦 ..... 3
- 3. 平成26年度土地改良区基盤強化事業研修会を実施 ..... 4
- 4. 平成26年度小水力等発電導入技術力向上地方研修会先進地視察の実施 ..... 5
- 5. 宮崎地区土地改良協議会先進地視察研修を実施 ..... 6
- 6. 本会電子メールアドレス変更のご案内 ..... 6

謹んで輝かしい  
新春のお慶びを申し上げます。

他職員一同	飯干 和昭	理事 猪俣 忠	代表監事 久松 節夫	理事 佐藤 貢	理事 甲斐 英孝	理事 黒木 健二	理事 児玉 久美	理事 目高 昭彦	理事 野間 寛俊	理事 肥後 正弘	理事 相葉 雄三	理事 池田 宜永	理事 崎田 恭平	理事 緒方 文彦	常務理事 猪股 敏雄	理事 丸目 賢一	副会長 前田 穰	会長 黒田 昭
	向山土地改良区	柳瀬土地改良区	山新土地改良区	日之影町長	延岡市土地改良区	日向市長	三納川筋土地改良区	川南町長	池島土地改良区	小林市長	師々目土地改良区	都城市長	南市長	宮崎県農政水産部長	学識経験者	大淀川右岸土地改良区	穰 町長	昭 学識経験者

# 新年のごあいさつ

水土里ネット宮崎 会長 **黒田 昭**



新年おめでとうございます。

会員の皆様には、お健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、本会の業務運営並びに農業農村整備事業の推進につきましては、日頃より多大なるご尽力とご協力を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、8月に広島市で発生した大雨による土砂災害、9月の御嶽山噴火、さらには11月に長野県北部を震源とした地震など自然災害による被害が全国各地で発生しました。

本県におきましても、台風や大雨、さらには高病原性鳥インフルエンザなどの自然災害が相次いで発生し、農業をはじめとする産業や県民生活に多大な影響を及ぼす大変な一年となりました。被災された皆様には、心よりお見舞申し上げます。

さて、農業農村を取り巻く情勢は、農業者の高齢化や担い手の減少、さらには耕作放棄地の増大など大変厳しい状況が続いております。このような状況が続けば集落機能の低下が懸念され、農業農村の多面的機能にも大きな影響を与えるのではないかと危惧されています。

このような中、国におかれましては、「農林水産業・地域の活力創造プラン」を策定し、「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」を造り上げ、農業・農村の所得倍増を目指すものとされています。

また、県におかれましても「第七次農業農村振興長期計画」の目標である「みやざき農業の新たな成長産業化」の実現を目指して、農業の持続的発展を支える生産基盤の整備や、豊かな地域資源を活用した魅力ある農村地域の創造に向け、各種施策を積極的に推進されております。

本会と致しましても、農地・農業用水はもとより農村地域を守り繋ぐ組織としての使命を再認識し、健全な形で次世代へと継承していくため、更なる技術力の向上を図り、ほ場整備や畑地かんがい整備など、農業生産基盤の整備や農業水利施設等の保全管理対策を積極的に推進するとともに、多面的機能支払交付金や農地中間管理事業などの各種施策の円滑な推進に貢献し、地域リーダーである水土里ネットの能力が十分発揮出来るよう会員の皆様方との連携強化に努め、豊かで活力ある農村の創造に向け役職員一丸となって邁進していく所存でございます。

本会の運営を取り巻く環境は、厳しい状況にございますが、会員各位並びに関係機関の皆様方の変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のごあいさつといたします。

# 新年のごあいさつ

宮崎県農政水産部 部長 緒方 文彦



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

会員の皆様には、平素から本県農業・農村の振興に格別の御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は、全国茶品評会において、2名の生産者が最高賞の農林水産大臣賞を受賞するとともに、高千穂郷・椎葉山地域が世界農業遺産の国内候補地域に承認されるなど、本県がこれまで築き上げてきた栽培・加工技術や、多様な地域農業に育まれた伝統的な農村の営みが高い評価を受けたことに、本県農業の力強さを改めて実感したところでもあります。

国においては、人口減少に歯止めをかけ、地域経済を活性化させる「地方創生」を本格的に展開することとしておりますが、農林水産業を基幹産業とする本県においては、力強い産地づくりや農林業を核としたフードビジネスの推進がますます重要となっております。

このような中、本年は、全国の意欲ある担い手が一堂に会する、第18回全国農業担い手サミットを本県で開催するとともに、イタリアのミラノで開かれる「食」をテーマとする初めての国際博覧会に本県も出展することとしております。

依然として、農業を取り巻く環境は厳しい状況にありますが、本県の高い技術や豊かな食を国内外に発信できるこれらのチャンスを最大限に生かすためにも、本県農業の力強さに磨きをかけていく必要があります。

このため、県としましては、JAの品目別部会や集落営農組織などを単位とする、マーケットイン型の産地づくりである「産地経営体構想」を加速化させるため、JAや法人の垣根を越えて多様なマーケット情報を共有できる仕組みづくりや、契約取引先に対応できる産地組織の強化、産地間連携の促進など、生産や流通・販売の構造改革と、これらの改革を担う人材育成の強化・充実に取り組んで参りたいと考えております。

土地改良区についても、統合整備の推進等を通じて、運営基盤の充実や管理体制の強化を支援してまいりますので、会員の皆様におかれましては、農業生産の維持向上はもとより、土地改良事業を契機とした農地の利用集積など、一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

結びに、新しい年が、会員の皆様方にとりまして希望に満ちた明るい年となりますよう祈念いたしまして、年頭のごあいさつといたします。

# 平成26年度土地改良区基盤強化事業研修会を実施



研修会の様子

全国水土里ネット（野中広務会長）は、去る12月8日午前10時30分より本会4階研修室において、県内外から水土里ネットの役職員約220名参加のもと、『平成26年度土地改良区基盤強化事業研修会』を開催した。

この研修会は、土地改良区の統合整備を推進するリーダーの育成を図り、土地改良区の組織運営基盤の強化を一層推進することを目的に毎年行われており、開催地においては各県持ち回りで、本年度は本県で開催されたため、毎年開催している「水土里ネット役職員研修会」を兼ねて実施した。

## 研 修

### ① 「土地改良法、税制関係法規・労働法関連法規・個人情報保護法関係」

講師：全国水土里ネット中央換地センター 参与 浦山 正四

### ② 「消費税法、複式簿記会計」

講師：全国水土里ネット管理システム研究部 主査 田中 克哉

### ③ 「農業農村情勢・農政の展開方向」

講師：農水省農村振興局土地改良企画課 係長 鈴木 健太

### ④ 「土地改良区組織運営関係」

講師：全国水土里ネット中央換地センター 参与 浦山 正四

### ⑤ 「土地改良区の合併事例発表」

講師：水土里ネット延岡市 事務局長 山野内 直

### ⑥ 「全体討論」

はじめに、主催者を代表して全国水土里ネットの浦山参与が挨拶を行い、次に開催県を代表して河野善充県農政水産部農村整備課長が宮崎県のPRを含めた歓迎の挨拶を行った。

その後研修に入り、浦山参与より、土地改良区会計基準の概要と複式簿記会計の必要性、滞納処分の手順や注意事項などが説明された。午後からは鈴木係長より、土地改良事業をめぐる最近の情勢及び水土里ネット定款例等の一部改正などが説明され、その後、合併事例発表として、水土里ネット延岡市 山野内事務局長より合併後12年の経過報告及びメリット・デメリットについて発表された。

最後に、全体討論として参加者から積極的な質問がよせられ有意義な研修会となった。



鈴木係長



山野内事務局長

## 平成26年度小水力等発電導入技術力向上 地方研修会先進地視察の実施

宮崎県農業水利施設小水力等発電推進協議会（事務局：宮崎県土地改良事業団体連合会）は、去る平成 26 年 12 月 2 日～3 日大分県竹田市、由布市及び日田市において、会員 13 名の参加のもと農業用施設を活用し、小水力発電を整備して固定価格買取制度や地域の活性化に取り組んでいる先進地を視察した。この視察では、実際の施設規模や音などを体験するとともに、その施設を管理する人たちの「生の声」を聞くことなど、本県の施設整備導入の推進に役立てることを目的に実施した。

### 視察施設 12月2日（火）

参加者は、発電施設の概要や事業導入までの経緯の説明を受け、維持管理の方法、発電に関する問題点等の多くの質疑応答がなされた。現地では、城原井路発電所及び阿部重機建設発電所を視察し、有効落差や水量、発電機の構造等を確認した。



城原井路発電所（竹田市）



阿部重機建設小水力発電所（由布市）

### 視察施設 12月3日（水）

大分県日田市は、市内全域で再生可能エネルギーの普及・促進と二酸化炭素削減、そして市民への環境教育の場の提供、更に、将来的にはエネルギーの地産地消を図ることを目的として、平成 23 年度から本格的に小水力発電に取り組んでおり、その状況を視察した。



日田市浄化センター（太陽光・小水力）（日田市）



小ヶ瀬井路小水力発電所（日田市）

小水力等に関するお問合せは、こちらです。

水土里ネット宮崎 総務部

新エネルギー対策監 堀田

TEL.0985-24-3498

FAX.0985-29-9107

E-mail horita-t@miyadoren.or.jp

## 宮崎地区土地改良協議会先進地視察研修を実施

宮崎地区土地改良協議会（前田穰会長：綾町長）は、去る 12 月 3 日～ 4 日に熊本県内の優良土地改良区において会員 32 名参加のもと視察研修会を行った。



水土里ネット大菊で説明を受ける様子



水土里ネット幸野溝で説明を受ける様子

### 視察内容

3 日は熊本県大津町の水土里ネット大菊において、水土里ネットの合併について研修を行った。同水土里ネットの宮本係長より、合併の経緯と合併を行うことで人件費の削減、事務所経費の節減、OA 機器の導入により事務処理が改善されたなどのメリットが説明され、最後に“統合”には行政の協力が必要不可欠である。と述べられた。翌日（4 日）は、同県湯前町の水土里ネット幸野溝において、賦課金の滞納整理について研修を行った。同水土里ネットの野村係長より、時効中断の方法や滞納処分の実例を説明され、最後に土地改良区の賦課金は法により納付が義務となっている、納付している大多数の”物言わぬ善良な方”のためにも、徴収しなければならない。と述べられた。

## 本会電子メールアドレス変更のご案内

このたび 12 月 15 日付けをもちまして、本会で使用しておりました電子メールアドレスを変更、一新いたしました。今後、本会担当者へご連絡される際には、新しい電子メールアドレスへ送信されますよう、ご案内いたします。

なお旧来の電子メールアドレスは、平成 27 年 1 月 31 日をもって終了いたしますので、申し添えます。

### 例) 荒川 良二 (arakawa ryouji) の場合

(旧) アドレス arakawa@miyadoren.com

(新) アドレス arakawa - r@miyadoren.or.jp

@ マークの前は、姓に続けて - (ハイフン) と名の最初の 1 文字

@ マーク以降は、miyadoren まで同じ。以下 [.com] が [.or.jp] に変更

### お問合せ先

水土里ネット宮崎 総務部

情報管理課 荒川

TEL.0985-24-3452

FAX.0985-29-9107

E-mail : arakawa-r@miyadoren.or.jp